

2026年3月期 中間連結会計期間 連結決算の概況

株式会社 キムラタン

2025年11月12日

連結経営成績 売上高

前期M&Aにより子会社収益が増加し前期比122.4%と大幅増収

賃貸事業は安定収益確保し不動産販売が大きく伸長。アパレル事業は減収

(単位：百万円)	2025年3月期 中間期		2026年3月期 中間期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	612	100.0%	1,362	100.0%	+749	+122.4%
売上総利益	293	48.0%	359	26.4%	+65	+22.2%
販管費	276	45.1%	328	24.1%	+52	+19.1%
営業利益	17	2.9%	30	2.2%	+12	+71.3%

連結経営成績 売上総利益

再販売事業、完成工事高の構成比増加により利益率は21.6ポイント低下
増収効果により利益額は前期比22.2%増加

(単位：百万円)	2025年3月期 中間期		2026年3月期 中間期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	612	100.0%	1,362	100.0%	+749	+122.4%
売上総利益	293	48.0%	359	26.4%	+65	+22.2%
販管費	276	45.1%	328	24.1%	+52	+19.1%
営業利益	17	2.9%	30	2.2%	+12	+71.3%

連結経営成績 販売費・一般管理費

子会社の増加に伴い前期比19.1%増加

人件費、保険料、システム変更一時費用、のれん償却費が増加

(単位：百万円)	2025年3月期 中間期		2026年3月期 中間期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	612	100.0%	1,362	100.0%	+749	+122.4%
売上総利益	293	48.0%	359	26.4%	+65	+22.2%
販管費	276	45.1%	328	24.1%	+52	+19.1%
営業利益	17	2.9%	30	2.2%	+12	+71.3%

連結経営成績 営業損益

不動産事業の収益増に伴い営業利益は+71.3%の増益

M&A効果により子会社収益が寄与した

(単位：百万円)	2025年3月期 中間期		2026年3月期 中間期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	612	100.0%	1,362	100.0%	+749	+122.4%
売上総利益	293	48.0%	359	26.4%	+65	+22.2%
販管費	276	45.1%	328	24.1%	+52	+19.1%
営業利益	17	2.9%	30	2.2%	+12	+71.3%

セグメント情報

不動産事業は大幅増収、本社費負担増によりセグメント利益は減少

アパレル事業は減収・粗利率低下。ウェアラブル事業は増収も先行投資の影響

(単位：百万円)	2025年3月期 中間期		2026年3月期 中間期		増減額	
	売上高	セグメント 利益	売上高	セグメント 利益	売上高	セグメント 利益
不動産事業	449	100	1,212	92	+762	△8
アパレル事業	150	△52	130	△57	△19	△5
ウェアラブル事業	12	△2	19	△3	+6	△1
計	612	46	1,362	30	+749	△16
調整額	—	△28	—	△0	—	+28
中間 連結損益計算書	612	17	1,362	30	+749	+12

連結経営成績 営業外損益・特別損益

支払利息の増加があるが営業外収益の計上により経常赤字は縮小

法人税等の増加により中間純損失は概ね前年同期比△2百万円となる

(単位：百万円)	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減額	増減要因等
営業利益	17	30	+12	
営業外収益	1	35	+34	受取保険金、受取還付金、解約返戻金を計上
営業外費用	62	94	+32	支払利息の増加
経常利益	△43	△28	+15	
特別利益	—	0	+0	
特別損失	0	0	+0	
法人税等	8	26	+18	子会社法人税、法人税等調整額の増加
中間純利益	△52	△54	△2	

連結財政状態

物件売却により販売用不動産が減少、返済により借入金減少し総資産は179百万円減少
新規連結による受入資産247百万円、負債98百万円

(単位：百万円)	2025年3月期	2026年3月期 中間期	増減	増減要因等
総資産	10,091	9,911	△179	
流動資産	2,117	1,996	△121	販売用不動産が227百万円減少
固定資産	7,973	7,915	△58	
有形固定資産	7,357	7,203	△154	物件売却と減価償却による減少
無形固定資産	572	595	+23	のれんが22百万円増加
投資その他	43	115	+72	
負債	8,958	8,820	△138	
借入金	8,118	7,883	△234	約定返済と物件売却により返済が進む
純資産	1,132	1,091	△41	
自己資本比率	11.2%	11.0%	－	－

キャッシュ・フローの状況

不動産販売が伸長し営業キャッシュ・フローが大幅増加

(単位：百万円)

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前期比
営業C/F	45	792	+746
税金等調整前利益	△44	△28	+15
減価償却費	94	95	+0
のれん償却額	18	25	+6
売上債権の増減	4	124	+120
棚卸資産の増減	△5	399	+405
仕入債務の増減	11	24	+12
その他	△34	151	+185
投資C/F	△196	△369	△172
財務C/F	△84	△326	△242
現金・同等物期末残高	232	300	+68

2026年3月期通期業績予想の修正

当中間期の業績及び今後の見通しを踏まえ通期業績予想を修正

アパレル事業のさらなるスリム化と構造改革に取り組み全社業績向上につなげる

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期		増減額	増減率
	実績	前回予想	今回修正予想		
売上高	1,758	2,800	2,780	△20	△0.7%
営業利益	134	310	210	△100	△32.3%
経常利益	10	160	70	△90	△56.3%
当期純利益	△27	85	10	△75	△88.2%

将来情報についての注意事項

本資料における当社および当社グループの今後の計画、見通し、戦略等の将来情報に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報から合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等の結果は、想定と大きく異なる可能性があります。

これら将来情報に関する記述には、多様なリスクや不確実性が内在しております。